

時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	資料および指導・援助
1 新政府の成立と諸改革	明治時代の年表や五箇条の御誓文を見ることを通して、新政府がどんな政治を目指していたかを考え、新政府が目指した政治に関心をもつことができる。	1, 幕末から明治を年表で見通してみても、そこから印象に残ったことや江戸時代と比べて違うところを挙げる。 ・初めての選挙が開かれ、憲法が作られている。 2, 帝国議会の絵を見せ、単元を貫く課題を設定する。 ・みんなで話し合っ決めていくように国の仕組みが整っていったんだ。わずか22年で。 《単元を貫く課題》 <b>「新政府はわずか22年でどのようにして国会開設を実現したのか？」</b> 3, 五箇条の御誓文をみて、どんな点を新しくしていこうとしているかを考える。 4, 版籍奉還や廃藩置県について知る。 5, 本時の授業の感想をまとめる。	アー 明治時代になり新政府がどんな政治を目指したかに関心を持ち、追究しようとしている。	発言内容 年表から読み取った内容の発言から分析する。  授業感想への記述 授業後の感想の記述から新政府の目指した政治への関心度を分析する。	「五箇条の御誓文」 (教科書)  五箇条の御誓文の難解な語句の意味について補足し、事実認識を援助する。 仲間の発言内容についての思いを述べることを指導する。
		幕末から明治時代にかけてものすごく変化したことがわかった。江戸時代には、考えが違おうと武力で戦って決着をつけていたのに、明治時代には始まって22年で国会が開設するまでになっている。このように大きな変化を起こすために、どのようなことが行われたのかをこれからじっくり調べていきたい。			
2 古い身分制度の廃止	四民平等の実態や徴兵制の免除の実態を通して、実際には、平民とは別に華族・士族という身分があったことや「えた」や「ひにん」に対する差別的な扱いが残っていたことを理解することができる。	1, 明治初めの身分別人口の割合を見て、わかることを発表する。 ・ほとんどが平民になっている。 <b>「四民平等になり、誰もが平等になったのか？」</b> 2, 様々な身分の人々の様子を調べながら、課題について考える。それぞれの身分の視点で ・ 平民は、名字を名乗り、華士族と結婚できるようになったが、・・・ ・ 「えた」や「ひにん」と呼ばれている人々は、多くの場面で差別を受け続けていた。 ・ 徴兵制を免除された人は、代人料や戸主・跡継ぎの人で、みんな平等に扱われていない。 3, 本時の学習のまとめとして、課題についての感想を書く。	ウー 四民平等になった後、江戸時代とどう変わったかについて読み取っている。	発言内容 四民平等や徴兵令について理解できているか分析する。 ノートへの記述 ノートへの記述から、江戸時代との違いに気付いているか分析する。	「華族・士族・平民の割合」 「身分制度関係政策」(教科書) 「徴兵免除の規定」 平等になったかどうか予想をさせ、その予想から調べを進めるように助言する。
		江戸時代の士農工商が廃止され、四民平等となった。このため、だれもが平等になったのかと思ったら、実際は、まだまだ不平等な部分が残ってしまっている。結局、徴兵制を免除された人を見ると、お金を払える人や跡継ぎの人となっている。これでは、新しい時代になり今までと違う世の中がやってきたと思っている人を裏切るようになってしまうように思う。他の改革はどうなっているのか調べていきたい。			
3 明治維新の諸改革1	日本を富国強兵にするために行われた教育に関する改革について知ることを通して、この改革が人々の生活にどんな影響を与えたのかを一般の平民の立場にたって考えることができる。	1, 新政府は、欧米の強国に対抗するためにどんな政策を考えたのかを調べる。 ・ 富国強兵 学制・徴兵制・地租改正 <b>「学制によって人々の生活は、どう変わったのか？」</b> 2, 資料から、課題について調べ、自分の考えをもつ。 ・ 6歳以上の男女全てが小学校教育を受けることになり、だんだん就学率が上がった。 ・ 学校の建設費や授業料が地元の人々の負担となった。 ・ 3, 身近な地域での明治時代の小学校について調べてみる。	ウー 課題について一般の平民の立場にたって考えをまとめている。	発言内容 一般の平民の立場にたって考えられているか分析する。 ノートの記述 課題についての考えが一般の平民の立場で記述されているか分析する。	「教育と国民」 (資料集) 身近な地域の小学校の副教材や市町村史  自分が一般の平民の立場だったらどう思うかを考えさせながら、資料を使ってまとめていくように援助する。
		新政府は、欧米の強国に対抗するために様々な改革を考えた。その中の一つ学制によって、小学校教育を受けることになったが、義務教育なのに授業料がかかり、人々の生活は一層苦しくなってしまった。また、学校の校舎を建設するためのお金も地元の人々の負担となったため、お寺等を仮の校舎とした所もあったという。新しい改革は、人々の生活を苦しめているように思うのだが、一揆等は起きなかったのか？			

時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	資料および指導・援助
4	明治の諸改革2 地租改正によって税の負担が江戸時代よりも増えてしまった常習水害村である羽島市の桑原輪中の人々は、税の負担を少なくするためにどんな行動をとったのかを資料からつかむことができる。	1, 地券を見てその中に記載されていることをつかむ。 2, 地租改正によって江戸時代とどう変わったのかを確認する。 <u>地租改正によって人々の生活は楽になったのか。</u> 3, 課題について資料を調べながら考えをまとめる 「水害がよくおこる桑原輪中の人々の立場で」 ・資料から楽になっていない。江戸時代よりも地租が多くなり、減額を要求している。 「それ以外の人々の立場で」 ・他の地域でも減額を要求して一揆等が起こっている。 3, この時の代表者 黒田誠郎さんとはどんな人かを知り、授業の感想をまとめる。	ウー 課題についての自分の考えを、資料を活用して、まとめている。	ノートの記述 課題についての記述内容から税の負担や人々の動きについてどの程度読み取っているかを分析する。	「地券」 「地租改正前との税の比較」(羽島中加藤所蔵) 「地租改正にかかわっての年表」(羽島中加藤所蔵) 「おもな農民一揆と土族の反乱」(教科書) 「美濃地方の水害の回数」(正木町副読本) 班内での交流において、質問し合えるように指導する。
明治維新の諸改革の一つ 地租改正では、地価の3%を現金で支払うこととなり人々は、江戸時代よりも楽になったと思っていたが、実際は毎年十分な収穫があるとは限らず、収穫が少なくても地租を支払わないといけないため、大きな負担となったんだ。特に、水害がよく起こる桑原輪中では、江戸時代よりも負担が大きく、困った人々は地租の減額要求のために東京にまで行っているんだ。					
5	近代国際関係 岩倉使節団の欧米視察結果から新政府は、どのような国づくりを進めていこうと考えたのかを新政府の立場で考えることができる。	1, 岩倉使節団の概要を知る。 <u>岩倉使節団は、欧米で</u> <u>どんなことを学んできたのだろうか？</u> 2 資料から課題についてわかったことをまとめることができる。 ・ 大國に対抗するためには、産業を盛んにし、軍事力を高めて、富国強兵の国にすること。 ・ イギリスの工場群を見て、なぜ富強であるかを学ぶことができた。 3, 新政府は、使節団の報告をうけ、どのような国づくりが必要だと考えたのかを考える。 4, 日本は、どこに国境を決めたのか、また、どのような条約を結んだのかをまとめる。	ウー 資料から岩倉使節団が見てきたことを読み取っている。	ノートへの記述 ・岩倉使節団が見てきたことを少しでも多く書き出してある。 ・記述内容に視点の多さや明確さ、思考の変容がみられるか分析する。	「岩倉使節団の行路」(教科書) 「岩倉使節団の旅」 「明治初期の外交と国境の画定」(教科書) 仲間との意見の交流の仕方を指導する。
岩倉使節団が、欧米を視察してきたことによって日本も富国強兵を一層推し進めていかないと欧米の国々にいつまでたっても追いつけず、不平等条約の撤廃をしてもらえない状況にあることに気付くことができたんだ。また、この頃、近代国家を形成していくためには、外国との国境をはっきりさせていく必要があり、交渉をどんどん進めていったんだ。この頃も千島列島は、日本領になっているんだ。					
6	文明国をめざして 殖産興業や文明開化によって世の中は、どのように変化したのかを資料から調べ、様々な視点から考えることができる。	1, 「政府の収入の変化」のグラフを見てわかることを発表し、本時の課題を設定する。 <u>新政府は収入を増やすために、何をしたのだろうか。</u> 2, 課題について資料から調べる。 「官営工場を作るという視点から」 ・ 日本の各地に官営工場を作り、産業を発達させようとしている。 ・ お雇い外国人を高い給料で雇ってでも、技術を取り入れようとしている。 「鉄道・海運を発達させるという視点から」 ・ 産業を発達させるために鉄道網を広げている。 3, 文明開化によって人々の生活はどう変わったかを調べて、まとめる。 4, 本時の授業の感想をまとめる。	アー 文明開化による生活の変化に意欲的に取り組もうとしている。	発言内容 課題についてそれぞれの視点から資料をもとに考えているか分析。 ノートの記述 生活の変化に意欲的に取り組もうとしているか分析する。	「政府の収入の移り変わり」 (教科書) 「官営工場と鉄道の発達」(資料集) お雇い外国人(資料集) 本時までの学習を振り返り、なぜ新政府は殖産興業や文明開化を行ったのかを考えるように指導する。
新政府は、日本を豊かな国にし不平等条約を撤廃するために産業を発達させることを考えた。そのために、お雇い外国人を招き、高い給料で技術を伝えさせたり、鉄道を発達させていったりした。また、外国からの文化をどんどん取り入れ、人々の生活の中で服装・食べ物・生活用品等が大きくかわっていったんだ。					

